



**PLATYPUS**

TECHNOLOGY

## Press Release

2001年11月7日

**報道関係者お問い合わせ**

株式会社デジベリー 渡辺

03-5797-0866

contact@digiberry.com

### プラティパス テクノロジー 日本市場に参入 ソリッドステートドライブ(SSD)を用いた ハイパフォーマンス・ストレージ事業で国内企業と提携

高速性でストレージ業界に新分野を開拓

ハイパフォーマンス・ストレージメーカーの米プラティパス テクノロジー社(以下プラティパス、英文名: Platypus Technology、本社: ニューハンプシャー州)は、同社が開発製造する DRAM(半導体メモリ)を用いたソリッドステートドライブ(SSD)の日本市場における事業に関して日本国内企業と提携を結んだと発表しました。

プラティパスの「QikDATA」(クイックデータ)、「QikDRIVE」(クイックドライブ)、「QikCACHE」(クイックキャッシュ)は、ソリッドステートメモリ(SDRAM)を高速ディスクドライブとして機能させるソリッドステートドライブ(SSD)です。プラティパス SSD 製品と従来の製品との最大の違いは、従来サーバーとの接続に SCSI 接続方式を用いており、そのデータ転送スピードの遅さにより SSD はディスクキャッシュとして利用されていました。プラティパスは、同社が技術特許を持つ PCI ダイレクトバス接続により、データ転送を高速化することが可能となりました。この結果、ソリッドステートメモリをディスクドライブとして利用し、独自開発の PCI バスダイレクト接続により毎秒 350MB のスループット、40,000 IOPS(1 秒当りのデータ処理回数)を実現しています。

「現在の情報システムはサーバーの性能が向上しても磁気ディスクのスピードの遅さがボトルネックとなっておりシステム全体の性能向上の妨げになっている。ソリッドステートドライブ(SSD)はこのバランスを正常なものにしてシステム全体の性能を飛躍的に向上できる。メモリの価格は今後さらに下落をしていくが、それに伴ってますます SSD の重要性が認知されていだろう。」と IDC 社リサーチディレクター、ロバート・グレイは述べています。

また、「磁気ディスクをベースとしたストレージは 50 年間に渡って情報システムの進化に貢献してきたが、留まるところを知らない情報システムのさらなる要求を満たすには磁気ディスクでは限界にきている。メモリ価格の下落は半導体をベースとしてストレージに対する認識を変化させている。SSD はミッションクリティカルな情報システムに対するもっとも効率の良いデータストレージ技術である。プラティパスは保有する特許技術によって高速でコストパフォーマンスに優れた製品を開発製造することができる。」とプラティパス CEO、コリン・リリーホワイトは述べています。

#### ソリッドステートドライブ市場

米ウェブフリート・リサーチ社の予測ではソリッドステートドライブの全世界の市場は 2001 年から 2006 年の 5 年間で出荷台数 550 万台、53 億ドル(約 6800 億円)の市場としています。「今後一層のメモリ価格の下落と市場におけるソリッドステートドライブの有効性が認知され始める。ストレージを見る目は二つのことに集約しつつある。第一はデータ転送速度で第二はデータ格納容量である。いかに早くシステム内でデータを移動し格納させられるかに要約できる。この点で半導体メモリと磁気ディスクの費用対性能比は半導体が有利になってきている。プラティパスの製品はオラクル、SQL データベース、OLTP、CRM、メール配信、金融系のミッションクリティカルなシステムに有効であり、最小限の費用でシステム性能を最大限引き出したい要求を持っている全ての産業分野において利用されるであろう。」とプラティパス CEO、コリン・リリーホワイトは述べています。



**PLATYPUS**

TECHNOLOGY

## ストレージ市場への参入

プラティパスの革新的な開発力はメモリ設計メーカーのハイパーテック社を起源としています。プラティパス CEO、コリン・リリーホワイトは以前のハイパーテック社の CEO など 12 年以上のメモリ業界で重要な役職を経験しています。プラティパス社の製品は米モンスター・ドットコム社、英エネルギー社、米ハイパーフィード テクノロジー社など世界の有数企業に導入され始めています。

## 日本における事業提携企業

プラティパスは株式会社デジベリー(本社:東京世田谷区、資本金:1020 万円、代表取締役 野渡 龍)と国内における輸入販売代理業務契約を締結しました。それに伴い、株式会社ウインドウ(本社:大阪府吹田市、資本金:9,800 万円、代表取締役 田中 仁)を国内再販業者として承認いたしました。これによりプラティパス製品が日本市場において販売するための流通体制が整備されたこととなります。「ブロードバンドの普及に伴い、本格的な高速ネットワーク環境の構築と運用が期待される国内市場において、プラティパスの SSD 製品は高い将来性を持つものと期待されます。」と株式会社ウインドウ、代表取締役 田中 仁は述べています。

## プラティパス テクノロジーについて

米プラティパス テクノロジー社は 1999 年にオーストラリア、シドニーで設立、2001 年本社を米国ニューハンプシャー州ウェストレバノンに移転しました。プラティパスは、磁気ディスクの 100 倍高速なソリッドステートメモリ (SDRAM)を用い、かつ冗長性を確保したストレージ機器を開発製造しています。ミッションクリティカルなシステムにおいてスピードの要求は従来の磁気ディスクをベースとしたストレージでは限界にあり、半導体メモリの価格の下落に伴ってソリッドステートドライブ(SSD)は、データの入出力のボトルネックを解消するための現実的、有効的な解決手段として注目されつつあります。プラティパスの革新的な製品は SSD がストレージ市場で幅広くに認知される貢献をしています。

米国に本社を移転したことにより情報産業界においてソリッドステートドライブ(SSD)のリーディングカンパニーとして確たる存在となりつつあります。営業拠点として米国サンフランシスコ、イギリス、ロンドンに営業所、研究開発およびアジアパシフィック地域の販売拠点としてオーストラリア、シドニーに事業所を設置、各国の販売網の整備により全世界の流通網を構築しています。プラティパスのホームページは [www.platypus.net](http://www.platypus.net).

###

## デジベリーについて

株式会社デジベリーは、海外の IT 企業との事業企画、事業提携を目的に 2001 年 3 月に設立。5 月には株式会社ソースネクスト(本社:東京都中央区、代表取締役:松田 憲幸)と事業提携、AWP 社(英文社名: AWP、本社:オーストラリア、NSW)が開発した e コマースサイト構築アプリケーションをソースネクストブランドとして OEM 供給をしています。今回のプラティパス社との事業提携は 2 社目となります。デジベリーのホームページは [www.digiberry.com](http://www.digiberry.com).

## ウインドウについて

株式会社ウインドウは 1991 年 3 月の設立以来、パーソナル・システムからテラバイト・クラスのハイエンド・システムまで、ストレージを中心とした周辺機器の開発・製造・販売を行なっています。RAID システム製品開発を通して培った、豊富な経験と高い技術力に裏付けされたシステム・ソリューション(SI)ビジネスを展開するほか、2001 年 10 月には商用では業界初となる Linux 対応ソフトウェア RAID 構築ツール「RAIDit for Linux」(レイドイット・フォー・リナックス)を発表しました。ウインドウの UNIX/Windows/Macintosh 関連システム開発、インターネット関連システム開発・構築、業界初の全 RAID システム国内オンサイト保守サポート実施など、ユーザの仕様に柔軟に対応するサービスは、高く評価されています。ウインドウの RAID システムは国内外大手企業を始め、各種大学研究機関が導入しています。